

JR 連合第 37 回中央委員会を開催

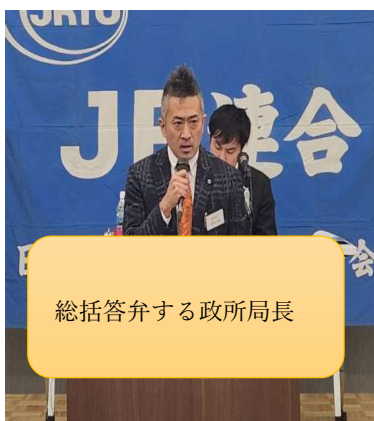


2月4日、大阪市内において開催され、2025春闘をはじめ、組織と運動を発展・深度化させていく決意を固め合い、満場一致で今後の運動方針が可決されました。

貨物鉄産労から辻村本部委員長、和田中央委員（東海地区本部）、南関東ロジ山田委員長が出席し、JR連合を代表し挨拶に立った荻山会長は、「主要課題である、安全・2025春闘・組織と労使関係・男女平等参画・産業政策と政治活動に5点について提起し、将来を展望しつつ、時間と効果を意識して戦略的に運動を進めていく決意を示したうえで、2025春闘では大きな成果を収め、JR産業の持続的な成長と組合員と家族の幸せを築くために、全組合員が一致団結して力強く行動することを訴えました。

続いて、執行部より、今後の運動方針案を提起し、質疑では、貨物鉄産労和田委員が、『去年は、輪軸組立不正・貨物列車脱線が連続して発生と、多くの鉄道関係者及び荷主様に多大なご迷惑をおかけし改めてお詫びする。現在、JR貨物グループ全体で失った信頼を取り戻すべく、安全確保の取り組みをしているが、JR連合としても信頼されるJR産業を構築するため、さらなる安全への取り組み強化をお願いする。組織課題では、国鉄組退職・若手組合員の退職や脱退もあり、残念ながら組織人員が減少している。この問題を解決するには組織拡大のみであり、魅力あるJR連合運動を他労組へアピールし組織強化に取り組んでいく。現在、労働界では組合離れが加速しており、今後、労働組合の存在が、どのように変化していくのか教えて頂きたい。

政治関係では、夏の参議院選挙において、JR貨物・鉄産労が大変お世話になっている榛葉議員が改選となる。私は、榛葉議員と同じ静岡出身であり榛葉議員への思い入れは大変強い。現在、国民民主党の人気は凄まじい勢いだが生選挙では何が起こるか分からない。榛葉議員をはじめ他の候補者必勝に向け取り組んでいく。政策課題では、2027年にアポルール改訂がある。すでに、貨物会社との意見交換や、旅客会社とのヒヤリング等を行っているが、今回のアポ改定では、貨物会社にとって相当厳しいものになると認識している。この問題を解決していく上で、貨物会社に「何が必要なのか」「何が足りないのか」「何をどうしていくべきなのか」教えて頂きたい。最後に2025春闘について、JR連合春闘方針に賛成し取り組んでいく。JR貨物は賃金改善が遅れていることは明らかであり、早急に改善をしなければ離職はさらに増え、優秀な人材も確保できない。現に、犬飼社長も「離職退職が多いこと」・「人材が確保出来ないこと」を懸念しており、魅力ある会社を構築する必要があると発信している。また、現場で働く女性社員も増えており、職場環境改善も大きな課題である。2025春闘では、大幅な賃金改善・女性に優しい環境構築を目指し闘っていききたい』と、発言しました。



解決していく上で、貨物会社に「何が必要なのか」「何が足りないのか」「何をどうしていくべきなのか」教えて頂きたい。最後に2025春闘について、JR連合春闘方針に賛成し取り組んでいく。JR貨物は賃金改善が遅れていることは明らかであり、早急に改善をしなければ離職はさらに増え、優秀な人材も確保できない。現に、犬飼社長も「離職退職が多いこと」・「人材が確保出来ないこと」を懸念しており、魅力ある会社を構築する必要があると発信している。また、現場で働く女性社員も増えており、職場環境改善も大きな課題である。2025春闘では、大幅な賃金改善・女性に優しい環境構築を目指し闘っていききたい』と、発言しました。

JR連合は、加盟95単組・組合員85000人の強固な団結と労使関係によって、「変化」に的確かつ柔軟に対応し、持続可能で「強くしなやかなJR産業」を創り上げ、JR産業に集うすべての仲間へ寄り添い、心と力を合わせ、未来を切り拓いていきます。